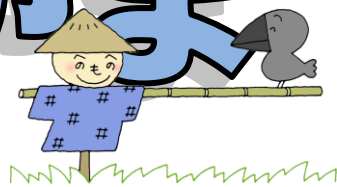


# なかま

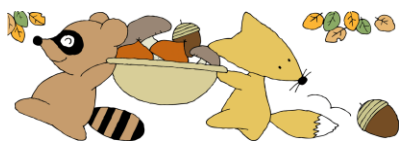


## 紙芝居

国内の図書館には、蔵書の一つとして紙芝居が置かれています。各学校の保護者の読み聞かせボランティアや地域のボランティアの皆さんが頻りに利用しています。そうした方にお世話になった経験を持つ子どもたちも多いようで、図書館でお母さんに紙芝居を借りるようねだっている姿も少なくありません。私はといえば、保育園や小学校でも経験があるのかもしれませんが、紙芝居の記憶は紙芝居屋さんだけに限定されています。私の地域では、自転車に紙芝居の舞台を積んだおじさんの姿をいち早く見つけた子どもが、おじさんから太鼓を預かって、辺りをたたいて回って紙芝居の到来を告げることになっていました。太鼓のご褒美は、水あめせんべい。私も何度か水あめせんべいのご褒美の榮譽に浴しましたが、演目は「黄金バット」であったか、その二番煎じのようなものであったのか思い出すことができません。小学校で、鼓笛隊や音楽コンクールの要員となりましたが、担当はいつも打楽器でした。今にして思えば、水あめせんべいの御蔭だったのかもしれませんが。どれほどの頻度で来ていたものか、今は思い出すことができませんが、テレビの普及とは逆のカーブを描くように頻度が減り、いつの間にか姿を見ることがなくなりました。



◆さて、前置きが長くなりましたが、今JASLでは、タラ先生をお招きして、紙芝居の授業が進行中です。紙芝居の舞台づくりや話の構成、紙芝居自体の作成まで、さまざまなことをご教授いただいています。子どもたちの手による作品が完成された暁には、本校ばかりでなく現地校でも演じられたり、貴重な紙芝居作品としてこれから先に代々受け継がれていたり、夢が膨らんでいきます。さてさてどんな学びになるのか、紙芝居授業の詳細は、また、後日にお伝えします。◆来週からの中・高部の表現発表会が実施されますが、小学部・プリンストンコース小学部・JASLの児童たちによる学芸学習発表会は12月に予定されています。こちら、各学年が作品作りの準備を進めています。秋が深まってきましたが、芸術の秋・文化の秋は、本校では今が真盛りです。

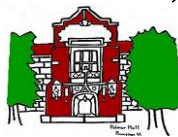


プリンストン日本語学校

平成27年度 No.24

平成27年11月1日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



## 秋祭り

秋祭りが無事終了いたしました。子どもたちにとっても大人にとっても、楽しくまた、学校への愛着を深めていくことのできた行事となったように思います。実施に当たり、リーダーの真野様をはじめ、係の皆さんにはご苦勞をいただき、誠にありがとうございました。当日は後片付けのために多くのお父さん・お母さん方が遅くまで残られ、机運びや教室・廊下のゴミ箱の処理まで丁寧にしていただきました。本当にお疲れ様でした。上の写真は「家庭の味」の一部ですが、どれを見ても美味しそ



うなものばかりでした。子どもたちの参加は限られたものとなりましたが、教室にも「秋祭り」の賑わいが、ほんのりと漂っていたようです。



**11月1日より夏時間終了。ご注意ください!**

## セキュリティについて

11月1日より、改めてセキュリティーの強化が行われます。今週配信されましたメールに具体的な方法が日・英文で記載されています。登校の際に混乱が起きないように、今一度ご確認ください。それに伴い、日曜当番の方には業務内容・方法に若干の変更が行われる予定です。ご協力をお願いします。再三お願いしていることではありますが、これを機に**ネームタグの着用の徹底**をお願いします。



## 今後の予定

- 11月8日 表現学習発表会 14:50~ (science 棟)  
平成28年度小学一年生募集説明会
- 11月15日 表現学習発表会 14:50~ (science 棟)
- 11月22日 学芸発表会 (幼稚部) 係打ち合わせ
- 11月29日 学芸発表会 (幼稚部) リハーサル  
学習発表会係打ち合わせ